

令和7年度 学校評価 児童アンケート結果のお知らせ

回答率92.2%(回答数509名)

令和8年1月()内は昨年度の割合

項目	そう思う+ 少し思う	あまり 思わない+	そう思う	すこし 思う	あまり 思わない	思わない
No1 家族や地域の人、友だち、先生に進んであいさつや会釈をしている。	91% (90%)	9% (10%)	55% (47%)	36% (43%)	7% (8%)	1% (2%)
No2 友だちのよいところを見つけて、なかよく生活している。	92% (94%)	8% (6%)	60% (63%)	32% (31%)	7% (5%)	1% (1%)
No3 学校では、楽しく元気に生活している。	94% (91%)	6% (9%)	73% (57%)	20% (34%)	4% (7%)	2% (2%)
No4 何事も簡単にあきらめず、最後までやり通そうとしている。	93% (91%)	7% (9%)	54% (57%)	39% (34%)	6% (7%)	1% (2%)
No5 学習には進んで参加して、自分の力を伸ばそうとしている。	93% (92%)	7% (8%)	59% (56%)	33% (36%)	6% (6%)	1% (2%)
No6 友だちと考えを出し合いながら学習を進めている。	89% (90%)	11% (10%)	51% (57%)	38% (33%)	9% (9%)	2% (1%)
No7 自分で工夫して学校の学習や家庭での学習に取り組んでいる。	92% (90%)	8% (10%)	57% (54%)	34% (36%)	8% (9%)	1% (1%)
No8 友だちが嫌な思いをするような、いじめやいじわるはしないようにしている。	94% (94%)	6% (6%)	75% (74%)	20% (20%)	4% (4%)	1% (2%)
No9 学校では、きまりを守って安全に生活している。	95% (95%)	5% (5%)	65% (62%)	30% (33%)	4% (5%)	1% (0%)
No10 社会科や総合的な学習、生活科などの学習で、地域の施設やお店について調べたり、地域の方から学んだりするのが楽しい。	93% (90%)	7% (10%)	65% (63%)	28% (27%)	4% (8%)	2% (2%)

- 今年度は、評価10項目中9項目で「そう思う+少し思う」(以下:肯定的評価)が90%を超えました。(昨年度は10項目すべて超えていました)全体的に高い割合を示しています。
- 昨年度と比べると、肯定的評価は10項目中6項目で上がっていて、「そう思う」(以下:積極的高評価)は10項目中7項目が上がっています。子供たち自身も成長を実感しています。
 - ・ No1「**進んであいさつ**」の項目では、91%(昨年度90%)の子供たちが「自分はあいさつをしている」と回答しています。交通指導員の方からも個人登校時のあいさつがよいとの声をいただきました。ただ、保護者アンケートでは31%の保護者の皆様が子供たちのあいさつに対して満足していないという結果でしたので、すれがあります。「相手に伝わるあいさつ」「思いのこもったあいさつ」ができるように、PTAの「あさがお運動」と連携しながら取り組んでいきます。
- No2「**なかよく生活**」、No3「**楽しく元気に生活**」、No9「**きまりを守って安全に生活**」の項目は、それぞれ92%、94%、93%の子供たちが肯定的に評価しています。中でも、No3については積極的高評価が16%と大幅に上がり大いに評価できる結果です。「学校が、楽しく元気に生活できる場」である点を肯定的に捉えた子供たちが多いことはうれしい結果です。一方で、学校で楽しく元気に生活できていない子供もいるのも事実です。今後も一人一人に寄り添った支援を続けていきます。
- △ No4「**あきらめずに最後までやり通す**」、No5「**学習に進んで参加して力を伸ばす**」、No6「**考えを出し合いながら学習**」の項目の積極的評価は、それぞれ54%、59%、51%となりました。中でもNo6については、6%減という結果でした。本校のめざす子供の姿「かしこい子」につながる評価項目です。私たちが目指す「自ら問いを立て、根拠をもって考えを説明する子供」の育成に向けて、この結果を踏まえた校内研究のあり方も見直す必要があります。また、否定的に評価している 11%弱の子供たちがよりよく学んでいけるように、一人一人に合わせた学習指導を心がけていきます。
 - ・ No7「**工夫した家庭学習**」の項目は、昨年度と比べて肯定的評価は92%(2%増)、積極的高評価(そう思う)も3%増(57%)でした。子供たちは、チャレンジ学習などの自主学習に工夫しながら意欲的に取り組んでいることが分かります。しかし、家庭学習に対して37%の保護者は満足していないという結果でしたので、No1「**進んであいさつ**」よりもさらに保護者との大きな意識のずれがあります。今後も、学年に応じて家庭学習の内容、時間等を指導していきます。
 - ・ No8「**いじめやいじわる**」の項目では、昨年同様94%の子供たちが「いじめやいじわるをしないようにしている」と答えているものの、6%の子供たちは「してしまう時がある」と答えているのが分かりました。いじめは、どんな理由であっても許されるものではありません。年2回の県いじめアンケートのほか、ここにこ面談、毎月の「こころのミニアンケート」などの取組みを続けながら、今後もいじめの「未然防止」「早期発見」「早期対応」「組織的対応」を常に心がけていきます。
- No10「**地域学習**」の項目は、昨年度よりも3%増の93%の子供たちが肯定的評価でした。教科担任制の導入なども含め、先生方の地域材を活用した教材研究の成果もあると考えられます。南部地域には歴史的にも文化的にも魅力的な学習材がたくさんあります。これらもそれらを積極的に学習に取り入れ、地域を誇りに思う気持ち、愛する気持ち(郷土愛)を育てていきたいと思えます。